

事業名：【団体支援事業】 いいね！って思えるチラシを作って参加者アップの講座を目指そう！

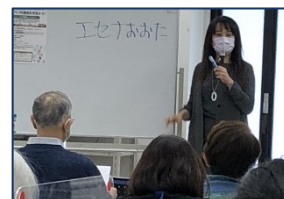
開催日時：3月4日 1時30～4時45分

場所：なか区民活動センター研修室1・2

参加人数：28名

参加者内訳：センター登録団体(16名)・区民利用施設自主担当(3名)・事業担当者他(9名)

『行列ができる！人が集まる！講座、イベントの作り方』の著者で、NPO 法人男女共同参画おおた理事長の坂田静香氏を講師に招いて開催しました。ご自身が手掛けてきた講座チラシの失敗例と成功例を比べ、グループワークで考えた後、具体的で分かりやすい解説があり、講座作りのアドバイスをたくさんもらうことができました。



講座に人が集まらないときの言い訳をこんな風にしていませんか？



・天気が悪かった、又は良すぎてどこかにでかけてしまった ・意識が低いのでは ・主催者が開き直って「こんないい講座なのに来ない方が悪い」等々
参加者が集まらないのには訳があります。失敗例を分析して次に活かすチャンス、学ぶ点がたくさんあります。失敗講座には広報力や企画力の考え方をみなおす必要があると考えましょう。



人が集まらなかったチラシからの考察

- ・前年度のもの(人が集まらなかった)を流用した
- ・対象者が絞れていなかった
- ・目的を前面に出しすぎていた。集客してから、目的を伝える講座を行えばよい
- ・タイトルにこだわっていなかった。この講座を受けるとどうなるのか、身近なゴールをタイトルに入れることが大事
- ・ネガティブな言葉をタイトルに使っていた

チラシ作成時のコツ

- ・タイトルは上1/3のスペースに大きく目立たせる(縦置きの場合、チラシラックを意識して)
- ・上左側は目を引くゴールドスポット、有効な言葉を使う
- ・長いタイトルはフォント、サイズ、色などでメリハリを
- ・ターゲットが60代でも50代と書こう。女性は特に若いと思っている。イラストなどもおしゃれなものを選ぼう
- ・表面には見せる内容で興味を引き、詳細は裏面でもOK
- ・何がウリなのか、どこを目立たせるのか、興味を持ってもらうために必要な事を考える

印象的な為になるフレーズ

- ・ワードでも目立つチラシはできる。誰でも使え、修正できるところがよい。パソコン技術を磨いておこう。
- ・「評判の～」 「人気の～」 「話題の～」 「あの～」 などの言葉をちりばめて効果を狙ったり、流行も意識する。
- ・数字も直感的に伝わるので、効果的に使おう(3人に1人がリピーター、96.6%が満足、4秒に1人が…など)
- ・雑誌の表紙や吊り広告、SNSをリサーチして企画やキャッチコピーのヒントを探る。
- ・自分と違う年齢、性別、職業など価値観の違う人ともコミュニケーションをとり、客観性を身につける。
- ・認知度が低い専門用語やカタカナはタイトルには不向き。断定形や体言止めで締めよう。
- ・成功事例はうまく真似しよう。地域性をプラスして地元版にアレンジしてみよう。



まずは企画ありき

- 対象者を徹底的に絞って企画する ●対象者の心に響く、ゴールの見える魅力的なタイトルを考える
- 最後は担当者の熱意と努力、失敗してもバネにしてあきらめない。コツさえつかめれば誰でもできます！

アンケートより抜粋・・・

- ・明日から活用できるお話を聞くことができました ・チラシのノウハウがわかりました ・対象者を明確にして、タイトルを考えたチラシの重要性を学びました ・目からウロコな事、参考にしたい事も沢山あって、とても勉強になりました ・企画からしっかり練り、人をひきつけるキャッチコピーを使ったチラシ作成が大事



◎「これから役に立つと思うか」という設問に「大変当てはまる」が25人、「まあ当てはまる」が3人と満足度の高い講座となりました。